

2026年度 長岡大学シラバス

授業科目名	英語 I B (English 1B)					担当教員	池 優子 (イケ ユウコ)	
2020-23 年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型 AL/ 資格対応科目
	2011-0-11-011	教養科目	必修	2 単位	1 年次	通年		
2024-26 年度 入学者(24K-26K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型 AL/ 資格対応科目
	2411-0-11-009	教養科目	必修	2 単位	1 年次	通年		

① 授業のねらい・概要						
今までインプットしてきた英語の知識を、日常の中の場면을切り取ったモデルケースで会話（リスニング、スピーキング）また自らのケースを書く（ライティング）して主体的にアウトプットしながら、自分や地域について知り、また相手についても 知るために聴く姿勢を培うことを目指す。TOEIC対応。						
② ディプロマ・ポリシーとの関連						
コミュニケーション能力						
③ 授業の進め方・指示事項						
学生が主体的に、各トピックに対して自分の体験を伝えたり、相手の話を聞き、自分の 意見を伝えるなどのペアワークまたはグループワークによる参加型。作文したもののプレゼンテーションを行う。						
④ 関連科目・履修しておくべき科目と履修に望ましい予備知識・技能						
⑤ テキスト（教科書）※授業で使用する。						
Eric Bray (2020) 「New Time to Communicate」 南雲堂						
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。						
⑦ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）						
アンケートによると、学生が主体的に学習するスタイルでのインタラクティブな授業を通して、自分ができたことが自信につながっている。学生が相互に影響し合い、気づきを得ている。よって、授業への参加意識を持っていただきたい。						
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安						
(1)リーディング：指示英文を読み、設問に答えることができる。（文法理解） (2)リスニング・スピーキング：テーマに沿って英語でプレゼンテーションできる。質問や返答ができる。 (3)ライティング：各回ごとの“TASK”に沿って英作文ができる。						
⑨ ルーブリック						
評価基準		S	A	B	C	D
評価項目		到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(1)	リーディング	指示英文を読み、設問に文法が正しい英語で答えることができる。	指示英文を読み、設問に文法がほぼ正しい英語で答えることができる。	指示英文を読み、設問に意味が伝わる英語で答えることができる。	指示英文を翻訳機能で読み、設問に英単語で答えることができる。	指示英文を理解できず、設問に英語で答えることができない。
(2)	リスニング・スピーキング	相手の発言を理解し自分の考えが伝わる 会話ができ、予定していない質問に正しい英語で答えられる。	概ね相手の発言を理解し自分の意見を返答でき、予定した質問に正しい英語で答えられる	原稿を見ながら英語で会話ができ、予定した質問に主語動詞のある英語で答えられる。	会話の原稿を読むことができ、予定した質問に英語の単語で答えられる。	原稿を読めず、予定した質問に英語で答えられない。
(3)	ライティング	英語の意味を理解し、ミスのない英文を 5 文以上書くことができる。	英語の意味を理解し、2 文程度ならミスのない英文を書くことができる。	英語の意味を概ね理解し、ミスはあるが意味が伝わる英文を書くことができる。	英文の意味を単語レベルで理解でき、句または節が書ける。	英語の意味を理解できず、意味の伝わる英文を書くことができない。

⑩ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 取組姿勢・意欲	その他	合計	
総合評価割合	60%	15%		20%	5%		100%	
(1) リーディング	40%	5%					45%	
(2) リスニング・スピーキング				20%	5%		25%	
(3) ライティング	20%	10%					30%	
評価項目「その他」詳細								
フィードバックの方法	各單元ごとのライティングの添削。文法事項の小テストで確認。実技は評価シート。							
⑪ 授業計画と学習課題								
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）						
1	オリエンテーション・自己紹介の表現	配布プリントをする。知らない単語を調べる						90分
2	Unit 1 Meeting People	配布プリントをする。知らない単語を調べる						90分
3	Unit 2 Getting to know your classmates	本文中の知らない単語を調べる						90分
4	Unit 2 Getting to know your classmates	本文中の知らない単語を調べる						90分
5	Unit 3 Talking about classes	本文中の知らない単語を調べる						90分
6	Unit 4 Talking about your daily life	配布プリントをする。知らない単語を調べる						90分
7	Unit 5 Talking about people personality①	本文中の知らない単語を調べる						90分
8	Unit 5 Talking about people personality①	5つの疑問詞、疑問文を作る						90分
9	プレゼンテーション準備 ・wh question	プレゼンテーション原稿を仕上げる						90分
10	プレゼンテーション	フィードバックにより修正						90分
11	Unit 6 Talking about people appearance	本文中の知らない単語を調べる						90分
12	TOEIC 準備	TOEIC 練習						90分
13	TOEIC	本文中の知らない単語を調べる						90分
14	Unit 7 Talking about last weekend	配布プリントをする。知らない単語を調べる						90分
15	前期の総復習	前期の総復習						90分
16	Unit 8 Talking about the vacation	作文原稿の修正						90分
17	異文化理解ワーク	配布プリントをする。						90分
18	Unit 9 Talking about going out on the town ①	本文中の知らない単語を調べる						90分
19	Unit 9 Talking about going out on the town ②	本文中の知らない単語を調べる						90分
20	Unit 10 Talking about foods and recipes プレゼンテーション準備	プレゼンテーション原稿を仕上げる						90分
21	Unit 10 Talking about foods and recipes プレゼンテーション	フィードバックにより修正						90分
22	Unit 11 Talking about travel プレゼンテーション準備	プレゼンテーション原稿を仕上げる						90分
23	Unit 11 Talking about travel プレゼンテーション	フィードバックにより修正						90分
24	Unit 12 Talking about hometowns 比較級	配布プリントをする。知らない単語を調べる						90分
25	Unit 12 Talking about hometowns プレゼンテーション準備	プレゼンテーション原稿を仕上げる						90分

26	Unit 12 Talking about hometowns プレゼンテーション	フィードバックにより修正	90分
27	Unit 13 Talking about your opinions	本文中の知らない単語を調べる	90分
28	Unit 14 Talking about future plans①	本文中の知らない単語を調べる	90分
29	Unit 14 Talking about future plans②過去形	配布プリントをする。	90分
30	Unit 15 Review and Practice	後期の復習	90分

⑫ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL を基本とするが、一部協同学修型 AL を採用する。テキストが提示する学生の身の回りのテーマから主体的に課題を選び、調べ、まとめてグループワークやディスカッションをする。まとまったものをプレゼンテーションにてシェアをし、自己評価及び学生同士も評価をする。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性